

## 土木、建築、公益事業

昭和33年度に支出した土木事業費は県が28億7千万円、市町村が13億9千万であり、道路を始め河川港湾、都市計画等の公共的事業に費やされている。

33年度末現在の県内道路は総延長30 839キロメートル、このうち舗装されれものは2.1%に過ぎない。橋梁では橋数が8 331、延長58千メートルで、木橋が一番多く石およびコンクリート造り、鋼橋の順であるが最近特に耐久力のある石およびコンクリート橋が多くなりつつある。

次に建築状況をみると延面積806千平方メートルで構造別には木造が多く、最近では特に鉄筋コンクリート建築の増加が目立ち、また住宅では戸数にして8 371戸でこれは26年当時に比して約3倍弱の増加である。

電力は産業の原動力であるが、家庭生活にも欠くことのできないものである。33年の電力消費量は85千万KWHで家庭用、産業用ともに大きな増加率を示し、昭和27年に比し約2.3倍の増加である。

次にガスは年々需用家数は伸びているが、家庭用としては約3万戸がその恩恵に浴しているのみである。工業用、商業用、医療用としては3千の事業所に供給されている。

水道は上水道と下水道に分れ、上水道は全世帯の23.8%が利用しているが近年環境衛生上の見地から設備の新設、拡充が行われている。後者の下水道に至つては都市の必要施設であるが、その施設状況は微々たるものである。